

## オロフレ山系の登別山と956m峰コブ山

郷土史に掲載された登別山とかなりの難所の956m峰コブ山を登る

登別山(1003m) 山スキー4名とSシュー1名

・日程：令和3年4月10日(土) 晴 雪質(湿雪)

・参加：CL藤木,SL後藤,笹山S,八重樫S,鈴木S

**9:00** カルス温泉P場を出発、オロフレトンネルを通過し直ぐのP場から入山。雪が付着するのでシールWaxを塗る。私は久しぶりの参加で不安いっぱい!**!**皆さん思いやりに恵まれリーダーの後ろを歩かせて頂きました。結構な登りが続きます。歩行中、少しずつ眠っていた感覚が戻って来る様でした。

**10:10** 峠への道路に出合、夏道登山口のP場へと進む。目前に夏シーズンは笹藪として見えているだけの小高い丸みがなんと素晴らしい事でしょう・・・立派な一座として私達を待っているではありませんか**!!** **10:50** 頂上着ぐる～り遮るものもなく展望抜群**!!** 山の醍醐味



登別山からオロフレ山の素晴らしい眺め

この山はオロフレ山に登るとき、私たちは何気なく横を通過している事を知り『登山は学べる**!!**』

**11:00** 下山開始。疎林の中を山スキー&Sシューを順調に操り無事到着。雪解けて床暖つき、風景面つきP場で美味しいランチを摂る。



車移動で二座目の“難所956m峰コブ山”を目指す

**12:30** 登山口の林道を歩き始めると少し息苦しい、二三次立止まり呼吸を整え登高すると、東尾根取り付きにピンテが下がり尾根遠くまで数ヶ所見えました。結構な斜面は疎林で眺めが良くて頑張っ上部の**956m**峰直下までつきました。これ以上は難所が続き登高を諦め退却としました。スキー班が滑走準備中に先に降りてマイペースで右に左にグルグル歩き**!?**どンドン下りました。(冬眠から目覚めた老熊の様ですか?) 上部に視線を移すと**956m**峰コブ山が荒々しく見えていた。地図上では現在地を登り詰め左に巻いて岩峰直下、目的地点



956m峰コブ山の山頂下にて滑走スタート

スキー班が滑ってきました。かっこいい**!!**私も出発したア楽しい**!!**雪山を歩ける事の元気が少しだけ戻って来た。三浦雄一郎さんが「歩くだけで30才若返る」と言っていました「私は何才でしょうか」・・・**14:10** 登山口着。暖かさ&思いやりを感じながらの復帰第一行、一緒に歩いて下さった方々に感謝**!!** 背中を推して下さいましたリーダーありがとうございました。

※会員の皆様

難所**956m**岩峰(短縮コース)もう一度チャレンジできますようお願いします。 記 鈴木 徳子

